

# 東京エリア Debian 勉強会

## 資料

上川 純一 [dancer@debian.org](mailto:dancer@debian.org)  
IRC nick: dancerj

2007年7月21日

# 本日の agenda

- 注意事項
  - 飲食禁止
  - 政治/宗教/営利活動禁止
- quiz
- Debconf7 報告
  - 概要
  - 議論
- Debconf workshop
  - 事前課題検討
  - Debconf で得るもの
  - Debconf を日本で開催するには
- Debian 勉強会の今後の企画の検討

# 前回の agenda




- 注意事項
  - 飲食禁止
  - 政治/宗教/営利活動禁止
- quiz
- Debconf7 リハーサル
  - pbuilder
  - superh
- エッチ
  - サーバをエッチにしてみました
  - 事前課題紹介
  - エッチワークショップ
- Debian 勉強会の今後の企画の検討

# Debian 常識クイズ

Debian の常識、もちろん知ってますよね？ しらないとはずかしいけどしらないとは言えないいろいろなこと、Debian Weekly News をベースに確認してみましょう。

<http://www.debian.org/News/weekly/2007/06/> にある7月3日版です。

# 問題1. André Luiz Rodrigues Ferreira が宣言したのはどのウェブサイトか

-  A Debian art
-  B Debian pop
-  C Debian tart




# 問題1. André Luiz Rodrigues Ferreira が宣言したのはどのウェブサイトか

答えは:



A

## 問題2. Jülich で行われた会議で lenny のリリースプロセスについて何をすることが決まったか

-  A 秘密のプロセスにのっとり、今後リリースがどうなっているかは非公開にする
-  B 毎月か二ヶ月に一回の最終週にリリース状況についてのメールを出す
-  C 安全保障のため今後は Debian Developer でないとリリースの状況がわからないようにする



## 問題2. Jülich で行われた会議で lenny のリリースプロセスについて何をすることが決まったか

答えは:



A 秘密のプロセスにのっとり、今後リリースがどうなっているかは非公開



B 毎月か二週にリリースメールを出す






C 安全保証  
bian Dev  
リリースの仕  
うにする



B

# 問題3. Lucas Nussbaum は毎月何をすると発表 したか

-  A 深刻な問題のあるパッケージを順番にのっとる
-  B 深刻な問題のあるパッケージを管理している人に罰ゲームをさせる
-  C 深刻な問題のあるパッケージについて通知するメールを自動で送付

# 問題3. Lucas Nussbaum は毎月何をすると発表したか

答えは:



A 深刻な問題のあるパッケージを順番にのっとする



B 深刻な問題を管理システムをさせる






C 深刻な問題について自動で送信






C

## 問題 4. Alexander Wirt は何を発表したか

-  A backports.org が sid に対応
-  B backports.org が lenny に対応
-  C backports.org が etch に対応

## 問題 4. Alexander Wirt は何を発表したか




答えは:

-  A backports.org が sid に対応
-  B backpor  
応
-  C backpor  
応




C

## 問題5. Martin Michlmyr が挑戦しているのは何か

-  A Debian を gcc 4.2 でビルドできるようにする
-  B Debian を全部 C++ におきかえる
-  C Debian を全部 ruby におきかえる

# 問題5. Martin Michlmyr が挑戦しているのは何か

答えは:

-  A Debian を gcc 4.2 でビルドできるようにする
-  B Debian きかえる
-  C Debian かえる



A



# Debconf7 紹介



# Debconf7 紹介 agenda

- Debconf7 紹介
  - 歴史
  - 会場
  - メンバー
- 討議内容
  - 組込み ARM EABI, Emdebian, Superh
  - i18n
  - 品質管理
- Q&A



# Debconf7 紹介

Debian Project の開発者をあつめて技術的な内容を討議する  
年次のカンファレンス

年	名前	場所	参加人数
2000	debconf 0	フランス ボルドー	
2001	debconf 1	フランス ボルドー	
2002	debconf 2	カナダ トロント	90 名
2003	debconf 3	ノルウェー オスロ	140 名
2004	debconf 4	ブラジル ポルトアレグレ	150 名
2005	debconf 5	フィンランド ヘルシンキ	200 名
2006	debconf 6	メキシコ オアスタペック	300 名
2007	debconf 7	スコットランド エジンバラ	400 名
2008	debconf 8	アルゼンチン マルデプラタ	?名

# 会場 1/2

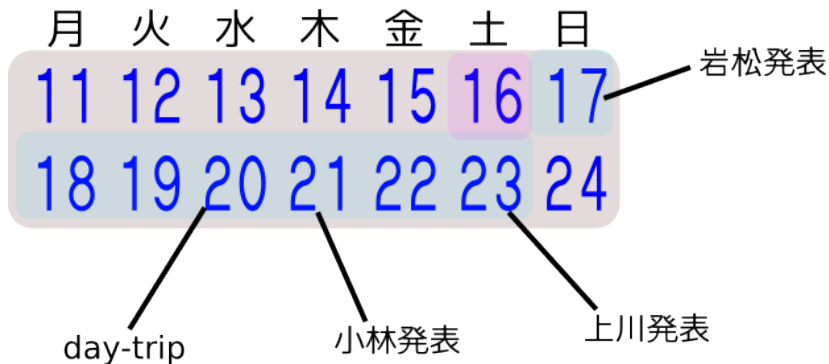
会場は昼の会場（Teviot）と夜の会場（廃教会）にわかれた。



# 会場 2/2



# アジェンダ 1/2



発表内容:

岩松: superh 移植版について

小林: i18n 関連

上川: pbuilder, cowbuilder, qemubuilder

# アジェンダ 2/2



The screenshot shows a web-based agenda interface. On the left is a navigation menu with options: Home, Set Schedule, Schedule, Personal data, Logout, and SubConf. The main area is a calendar grid with a header for dates from 09.09 to 24.09. The grid contains several event blocks with titles, descriptions, speakers, and attendance information. Some blocks have an 'ADD' button.

Date	Event Title	Description	Speaker	Attendance	Action
10.15	Security Support in Debian	The Good, the Bad and the Ugly	Michael Anderson	Feedback for this event	
10.15	Liquor: Gentoo as a meta-distribution or making a custom Debian like distribution.	An attempt to create a customized Debian-like distribution generator.	Yuri Vanleess	Feedback for this event	ADD
10.15	Setting our LDAP story together (2nd)	Discussion about common direction, drafting a policy	Philip Evans	Feedback for this event	ADD
10.15	LPI Exams 2	LPI 101, 102, 103, 104		Feedback for this event	ADD
10.15	Feedback for this event			7 Attendees signed up for this event	ADD
10.15	Feedback for this event			10 Attendees signed up for this event	ADD
10.15	Feedback for this event			10 Attendees signed up for this event	ADD
10.15	FAI - Fully Automatic Installation - QA	Everything you always wanted to know about FAI but were afraid to ask	Thomas Lange	Feedback for this event	ADD
10.15	Trusted Computer Project	providing secure systems to naive users	Philip Hand	Feedback for this event	ADD
10.15	Feedback for this event			10 Attendees signed up for this event	ADD
10.15	Subconf 9 Presentations				ADD

スケジュールは pentabarf システムで管理、随時変更がかかる

IRC チャンネルで IRC bot が開催が近くなると通知

# 参加メンバー

2007年は日本からは岩松、矢吹、上川が参加





Bute 島への一日旅行

コンピュータに全く触れない  
一日をスケジュールの真ん中  
に準備することで長い会期を  
のりきる

新しいインスピレーションが  
うまれたり

新しいコミュニケーションがで  
きたり





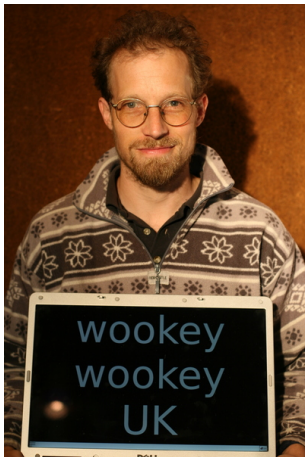
## 討議内容

# 組込 関係の話題

- Armel port
- Emdebian
- SuperH

# Armel port

- 発表者  
Wooky



# Armel とは

- Armel  
ARM への新しい ポーティング名
- 二種類の ABI
  - legacy ABI  
従来の ABI
  - ARM EABI  
組込向けの ABI

- legacy ABI
  - FPU 命令コードの取扱い
  - 例外による浮動小数点演算
- EABI
  - 動的な FPU を使った計算とソフトウェアによる計算

この2つに互換性はない

# 現在の状況

- binutils  
2.16.92 からサポート
- gcc  
gcc-4.1.1 からサポート
- glibc  
glibc-2.4 からサポート
- linux-kernel  
2.6.16 からサポート
- Debian packages  
現在、約 10000 パッケージをサポート

- 旧バイナリから新バイナリへの移行  
debtakeover<sup>1</sup> を使うことによって、移行が容易になるはず。

---

<sup>1</sup>他の Linux ディストロから Debian に移行するための補助ツール



# 発表者

- 発表者  
Wooky  
Neil Williams



- 2000 年から開始.
- Debian の組込向け プロジェクト
- 正式なサブプロジェクトのひとつ
- クロスコンパイルによるパッケージのサポート

# いままで試してきたことについて

- Debian は native コンパイル思考  
クロスコンパイルをサポートするように、パッケージにサポート修正
- Debian は パッケージサイズが大きく、デスクトップ思考  
パッケージを作成するときにドキュメントを外す仕組みを追加
- ソフトウェア毎に最適化する仕組み
- glibc 以外の C library を試用
- perl に頼らない Debian system の構築  
Essential から Perl package を外す

# 現在のステータス

- dpkg, apt, debhelper に cross 用のツールを追加
- cross 用のツールを用意
  - dpkg-cross
  - apt-cross
  - emdebian-tools
- ドキュメント類を削除したパッケージを用意
- emdebian の changelog, patch を subversion で管理
- i386/ppc/amd64 用のクロスコンパイル環境の提供

# 解決すべき問題点など

- configure のクロスコンパイル対応  
configure 実行するときに `-host`, `-target` を指定していないものが多い
- configure のドキュメント対応  
`-nodoc`, `-nocheck` に対応していない configure が多い
- テストプログラム  
コンパイル途中で動作するテストプログラムを実行しないで済む仕組みが必要

# 今後の予定

- ツールチェイン自動アップデート
- GPE for ARM
- emdebuild
- empdebuild
- configure キャッシュファイルのサポート

- uClibc サポートの議論
  - バイナリ非互換
  - メンテナンス性、サーバー容量の問題
- Busybox サポートの議論
  - GPE が使用
  - busybox 上でのパッケージサポート

# Debian for SuperH

- 発表者  
Nobuhiro Iwamatsu





# 今までの移植の歴史

- 自分が行うまでに2回移植が行われた
- しかし、全て失敗
- 世界を巻き込んでやらないといけない  
世界の興味ある人を募集中。

# ポーティングポリシー

- サポートアーキテクチャ  
SH4 / little
- SH3 : FPU / Calling convention / Cache
- Big Endian

# 現在の状況

- Maling list
- Buildd 動作中
- Build-essential
- 2000 パッケージビルド

# TODO

- buildd / アーキテクチャ メンテナンスチーム
- SH 特有の問題を解決
- Buildd.net への登録

## 現在入手可能な SH デバイス紹介

- ULS-5P
- T-SH7706-LAN
- L-BOX
- PX-EH16L

- SH4A コアなどの対応
- キャッシュ問題の回避方法
- マシンの入手の問題

Debconf7 で行われた i18n (internationalization) のセッション

- i18n work session
- Quality assurance activities for localization

- 発表者  
Christian Perrier





期間中に 8 回のセッションが行われた。

- Launch session
- Lenny i18n release goals
- Pootle session
- DDTP, DDTSS, discussion about DDTP import to Pootle
- i18n translation licensing, website, documentation
- i18n No content yet..:-)
- "tdebs", dpkg/apt, classes of files
- Conclusion session

# Quality assurance activities for localization

- 発表者  
Noritada Kobayashi  
代打 Junichi  
Uekawa



# セッション内容

どのようなツールを使って翻訳を行っているのか.

- pootle  
翻訳向けポータルサイトツール  
`i18n.debian.net:8080`
- robot  
現在、Debian 翻訳チームが使っているツール  
`i18n.debian.net/debian-l10n`
- 翻訳ツール
  - emacs/vi po-mode
  - poedit
- 翻訳補助ツール
  - kbabel / vi spell check など
  - pootel でも可能
- 現在のワークフローや情報  
`http://i18n.debian.net/wiki`

# 品質管理 関係の話題

- Proactive Bug Discovery
- Maintaining Packages With Git
- WTFM, again: Write The Fine Manual page

# WTFM, again: Write The Fine Manual page

- 発表者  
W. Borgert

No Photo

# WTFM, again: Write The Fine Manual page

いかにして、品質のよい man page を作成するか.

- Debian で頒布されているプログラムにはマニュアルが必要
- nroff 形式の man が多いが時代遅れ  
あらゆるフォーマットに対応できる形式が望ましい
- docbook-xml を使うとよい  
Gnome, KDE, Linuxなどで採用
- マニュアルがソースに含まれている場合もあるが、  
チェックが必要

# Proactive Bug Discovery

- 発表者  
Sam Hocevar /  
Debian Project  
Leader



# Proactive Bug Discovery

パッケージの不具合を見つけるには

- ソースコードからを見つける
  - google code search
  - rats, pscan, jlint, pychecker
- コンパイル時に -Wall をつけよう
- makewrap の活用  
LD\_PRELOAD=makewrap.so debian/rules
- build log を参照  
<http://buildd.debian.org>



# Proactive Bug Discovery

## バイナリパッケージから不具合を見つける

- Debian Policy によるチェック  
linda / lintian
- インストール/アンインストールチェック  
piuparts
- Fuzzing の活用  
zzuf パッケージを使ったテスト方法
- GUI アプリケーション のデバッグ  
xvfb の活用
- test suite の活用

# Maintaining Packages With Git

- 発表者  
David Nusinow      no photo

# Maintaining Packages With Git

git, git-buildpackage を使って、debian package を管理する方法

- X strikeforce は git を使っている
- patch 管理 は quilt を使う
- git を使うだけで時間の節約になる  
各種ツールがはやい. branch が楽.
- svn ではコミットに制限があるが git にはない  
どこでもコミット.
- git-xxx  
他の SCM で管理しているアップストリームを git で管理するのに楽

# Maintaining Packages With Git

git, git-buildpackage を使って、debian package を管理する方法

- debcommit debian/changelog を各 SCM のコミットメッセージとして扱ってくれるツール
- 問題
  - git-buildpackage はアップストリームが git を使っている場合に、うまく動作しない
  - git の Windows ネイティブ版が普及していない<sup>2</sup>
  - git ではディレクトリ毎にチェックアウトできない<sup>3</sup>

---

<sup>2</sup>cygwin 版、mingw 版はある

<sup>3</sup>submodule 機能実装中

# Debconf7 の情報

- <http://debconf7.debconf.org>
- <http://wiki.debconf.org/wiki/DebConf7>



- アルゼンチン
- 8月 (開催地は冬です)



# Debconf Workshop



# 事前課題の 紹介



# 事前課題問題

「今後 Debconf を日本で開催するために Debian の認知度を上げる方法」もしくは「企業が Debconf のスポンサーになるためには」というタイトルで 200-800 文字程度の文章を書いてください。

企業が **Debconf** のスポンサーになるためには  
これは実際に debconf7 のスポンサーをした企業に聞いてみるのが良いのではないかと。

[https://debconf7.debconf.org/wiki/Main\\_Page](https://debconf7.debconf.org/wiki/Main_Page) で一覧が見れます。

## 今後 Debconf を日本で開催するために Debian の認知度を上げる方法

- Debian を使っている人のブログにブログシールを貼ってもらう
- Debian の壁紙 (PC/携帯など) を作って配布
- 日本にあるジオキャッシングのポイントの宝物を全部 Debian のインストール CD/DVD にしておく
- Debian ウチワを作って道行く人に配布
- DebianJP(など) についてを漫画にしてみる

「今後 Debconf を日本で開催するために Debian の認知度を上げる方法」「企業が Debconf のスポンサーになるためには」

日本だと、Linux をちょっと知っている程度の方は Linux = Redhat だと思います。スポンサーになる決裁権限を持っている人もまた然り。Linux 自体知らないかもしれません。そう考えると、「Debian? 何ソレ?」ということになるだろうと。

そうすると Debian 自体の認知度を上げる対象としては、Linux をかろうじて知っているレベルの人、あわよくば Linux 自体を知らない一般の人になるかと。

- Linux を知っている人

- ① Debian というディストロ自体の存在を教える。
- ② Debian の特徴を話す。
- ③ Redhat など（というか Redhat だけで十分だろうけど）他のディストロと比較したときのメリット、デメリットを説明する。
- ④ ビジネスで Debian を使うとき...の話になると、スポンサーやるだけの体力のある会社（そもそもスポンサーは最低いくらから？という疑問があるのですが）で、Debian を導入する企業は、初期費用が高くて Redhat はもちろん、Windows、商用 Unix なんぞ使わん！という企業な気がします。そこの（現場でがちがちにやっている人ではなく）決裁権限を持った人を対象に Debian を使いましょうセミナー（OSC とか？）やるんでしょ  
うか...

- Linux を知らない人

- ① Linux とは何ぞやという話をする。
- ② Linux = Debian というくらいの勢いで Debian の良さを刷り込む。

終了。

どちらにしても、一般の人を対象にした Debian の普及活動が必要ではないかなと思います。

とりあえず個人でできることとしては、4月から月一でやっている社内のLinux勉強会では、自分での担当分の資料とか話は全部Debianでやってます。Debianって何？というか、Linux自体使ったことない人もかなり多いので。

今後 **Debconf** を日本で開催するために **Debian** の認知度を上げる方法

とにかく Debian という「難しい」「堅苦しい」というようなステロタイプがあるように思えます、というか私はそう思っていました。

ところが、いろいろとディスリビューションを試したあげく、出た結論は、私のような小規模な会社で各種サーバーを立てる際には、Debian が一番、設定も日常の管理も楽であるということでした。

たまたま、一昨日から「社内のいろんなこと全部させているサーバー (apache, zope, サイボウズ Office 他)」をリブレースするにあたって、etch をインストール& 設定しているところなのですが、非常にお気軽にだいたいの作業が済んでしまいました。

デスクトップとして使うにはまだまだ通常のオフィス業務では Debian を含め、Linux には壁もあるとは思いますが、特定の管理者がいない(立てられない)小規模なグループサーバ等には Debian が最適である、ということを私は感じています。この点をもっとアピールできれば、Debian の認知度、採用件数はもっと増えるのではないかと思います。



「今後 Debconf を日本で開催するために Debian の認知度を上げる方法」

こーゆーのを考えるのは非常に苦手なのですが、ない知恵を絞ってみました。debian は数ある Linux distribution の中でも「敷居が高い」と言われていると思います。とりあえずグーグル先生に尋ねてみた所、

- Red Hat 敷居が高い に一致する日本語のページ 約 975 件中 1 - 50 件目 (0.15 秒)
- debian 敷居が高い に一致する日本語のページ 約 9,950 件中 1 - 50 件目 (0.16 秒)

という結果が得られました。どうやら debian は Red Hat の 10 倍ほど敷居が高いようです。

「敷居が高い」というイメージには、「使い勝手が良くない」というイメージも含まれていると思います。そこで、やはりもっと使い勝手を良くしたらどうか？という事が考えられますが、それでは「それ何て Ubuntu？」という事になってオシマイです。うーん、困りました。

しかし、ここで逆転ホームラン！RMS よろしく「Ubuntu は debian/Ubuntu と名乗るべきだ」とあちこちで言いふらす、とゆーのはどーでしょうか？もちろん「KNOPPIX は(以下略)」でも可。

こんなネタしか思いつきませんでした orz  
ごめんなさい。

おそらく、linux をかじったことのある人は Debian GNU/Linux の名前ぐらいは聞いたことがあるのではないかと思います。そのなかで、実際 debian を使用したことがある人は、まだまだ少ないのではないかと思います。

まず、エンドユーザの debian の導入について述べます。

debian の過去にリリースされた stable のインストーラは、初心者がいきなり使うのはやや難しかったように思います。例えばリリース期間が長いことにより kernel などが古くなり、最新マシンのサポートが追い付かなかったり、GUI インストーラの導入が遅れたことにより初心者から敬遠されたり、基本的に最小構成のインストールを考えているため、非常に豊富なパッケージ数が禍して、エンドユーザの初心者ではパッケージが選べなかつたりしたと思います。それゆえ、いち早くインストーラの改良をした Red Hat 系や、エンドユーザが必要としそうなパッケージをまとめてインストールすることにした Ubuntu などが躍進したものと思われます。このイメージが今でも残っているらしく、初心者が debian の導入を躊躇う一因となっているようです。

また、エンドユーザは必ずしも安定性を重視するものとも言い切れません。実際、人柱仕様 (debian の experimental から unstable 相当か) の Fedora でさえ、ある程度初心者を受け入れられていると思います。目新しいパッケージがある程度使用可能な状態で簡単に利用できさえすれば、初心者でも導入を検討すると言うことでしょうか。リリース期間を短縮し、目新しいパッケージがある程度安定して使用可能な状態にするため、これらを改良したものが Ubuntu なんかも言えます。(debian ではフリーズされた状態の testing ぐらいですかね?) しかし、稀にあるバグの対応にある程度慣れている我々でしたらエンドユージングには普段から testing や unstable の使用で問題ないのですが、初心者に今の BTS を探させるのは流石に無理があると思います。このあたりのサポートの改良が必要かと存じます。

次に業務での debian の導入について述べます。

業務で linux を導入する時は、debian の導入を検討したことのある人もいないかと思いますが。業務での使用に際し、debian の一番の欠点になる点は、企業によるサポートが少ないことだと思います。現在、ML などによるコミュニティベースのサポートはありますが、業務使用となると、トラブルが起きた際の、契約書に基づいたテクニカルサポートが必要になることもあるでしょう。このあたりはシステムインテグレータなどを巻き込んだテクニカルサポートの充実も必要かと存じます。

最後に、debian の良いところであり、アピールすべき点を述べます。

まず stable の長期にわたるセキュリティサポートのため、サーバユースにおいては有利だと思います。安定運用のためにはアップグレードの度に、導入テスト、運用テスト、回帰テストなどをしなくてはならず、そう度々にはアップグレード出来ないと思われれます。これは長所と言えるでしょう。

次に、豊富な公式パッケージ数は欲しいパッケージを入手する上で有利です。さらにライセンス上の問題から debian 公式には入れられないパッケージも、非公式に公開されていたりしており、充実しております。これも長所と言えます。

さらに、豊富な対応アーキテクチャ数も長所です。例えば ARM への対応や、岩松さんが現在移植されている SuperH への対応などは、組込み系の linux の導入を容易にする成果だと思えます。

これらを武器とし、国内企業の debian への興味を引き出すことができれば、日本での Debconf 開催のためのスポンサーともなるでしょうし、国内での認知度も上がると思われれます。



最終的には行政機関 (国や地方自治体など) で debian が使われるようになったら、システムインテグレータも debian のテクニカルサポートも考慮してくれるかな？

「企業が **Debconf** のスポンサーになるためには」  
企業がスポンサーとなるためには ”費用対効果 ”が必ず求められると思います。Debconfに投資するとこんな良いことがあるとか、しないとかんな不利益があるとか（これは脅迫ですね）が明確になると企業は投資しやすくなると思います。

「今後 **Debconf** を日本で開催するために **Debian** の認知度を上げる方法」

Debian には「堅苦しい」、「古め？」という固定観念というかイメージがあるように思えます。そこを逆に利用して安心・信用して利用できるディストリビューションとしてある特定分野の利用を推進し、「なら Debian」というようなポジションを築くのが良いのではないかと個人的には思います。

企業が Debconf のスポンサーになるためには  
企業にとってみれば、Debconf はもとより、Debian のスポンサーになるのも敷居が高いのでしょうか。初めから、スポンサーになってください、とお願いしても、企業にしてみれば、それでウチに何の得があるの？ というところでしょう。さて、企業に利益が出るためには、乱暴に言って仕事にできることが必要です。今現状では、Debian をターゲットに商売をしようにも、お客さんがいないという判断をされてしまうのではないですかね。個人レベルでは、結構使っている人がいるんだけど、お金を使ってくれる人がいない、というか、お金を出せる人が知らないというか。

で、どうするかという話なんですが、やはり使う人を増やす、というか、商品要望の声を上げる... のかなあ。要は、Debian を相手にすると儲かるぞ、と思わせればいいのかな、と。

ウチの会社はまだそこまで行ってないですね。内輪レベルで、こういうことできるよってやってる感じ。でもなかなか乗ってこないんだよな...

儲かると思わせられれば、Debconf のスポンサーにもなってくれそうだよなあ、と言うのは甘いですかね。

素人考えですが、草の根的な活動を行うと同時に、媒体への露出を増やすのも手ではないかと思います。Debian といえば FLOSS の開発プラットフォームとして優れていると思うのですが、最近は政府系の団体なども FLOSS の推進をしているようですし、そうしたところとうまく協力できれば、媒体経由で認知度を上げることも可能ではないかと。

今後 Debconf を日本で開催するために Debian の 認  
知度を上げる方法

今回のお題は（どちらも）難しい。別件を片付けながら3時間ちょい考えてみたが、正攻法な良い方法が思いつかなかった…。降参。仕方がないので、色物に走ってみる。

Debian ユーザを結集し、チームを組んで SETI@home に参加し、上位に載る。どっかの大学か企業を誑かしクラスタを組んで「TOP500 Supercomputer Sites」に載る。募金を募って新聞に一面広告を載せる。何かシステムを作って流行らせて、「XXXXX on Debian」とか命名する。適当に「Web2.0」なサービスを立ち上げ、日経に取材してもらう。（将来）世界一の（となる）検索システムを作って、マスコミのインタビューで「OSはDebianです」と答える。…駄目だ、面白くない。

今回のテーマですが、もちろん、単に Debconf をやれば  
いい、というのであれば、偶然運良く支援企業が見つかる  
のを期待する、というのもひとつの方策ではあります。日  
本のマーク・シャトルワース (例の Ubuntu の人ですよ) み  
たいなのが現れ、しかも、なぜか Debian に興味を持ってく  
れば、なんとかなるでしょう。しかし、究極的には、もっ  
と根本的なことに目を向けるべきでしょうね。(それが言いたくて、わざわざ投稿している。)

これは、某社団法人系 ML での例の騒動 (って、知っている人は L7 ではどれ位なんですか?) とも、その根源的次元においてはまったく同じことなのですが、ガバナンス (統治) をどう考えるか、権力性をどう考えるのか、公共性をどう考えるか。そういった次元に最終的には帰着できます。

また、Debconf 開催限定では、もっと表面的には、「Debian は儲かるか？」の一点でしょう。

「儲かるか？」という次元は、皆さんも理解しやすいでしょう。そして、この次元の検討は重要で、たしかに、実際に



いい加減長すぎるので、短くまとめると、とにかく、  
Debconf 開催のために、資金援助から地元自治体の協力から、、、そういったものをとってくるのに必要なのは、

A とにかくカネになる。

B 社会に貢献している、という大義名分。

このどちらかが必要です。で、A は  
Debian の理念から外れそうなので、結局は B。このあたりをどう考えるかが、Debconf だけではなく、Debian 全体にとっても、今後、カギになるポイントなんだと思います。

## 「企業が Debconf のスポンサーになるためには」



http://www.debconf.org にアクセスすると、コンタクト先が書いてあります。このメールアドレスに、スポンサーしたい旨メールで表明してください。

# サマリー

	要素	例
Why	経済的なみかえり	Debian に金を出さないと不利になる、Debconf に広告スポンサーとして金を出すことで売り上げが向上する
When	Debconf の開催	
How	debconf.org にメールを送信	
What	会場、ピザ、ビール	
Who	企業	
Where		

# Debconfに参加するメリット

	参加した場合	参加しなかった場合
コード	合宿してコードがかける	
文書化	合宿して文書がかける	
議論	直接議論できる	
発表	セッションに参加して発表でき、発表をきくことができる。	

# 日本で Debconf を開催するメリット

# Debconf を日本で開催した場合

参加者の負担は?

	フランス	アメリカ	南米
成田	828	809	1600
千歳	980	1197	2121
関西	736	809	1718
沖縄	1485	1197	4307

# 最近のイベント

- 8月 夏祭り
- 8月 Debian 14 周年
- 10月 5-6日 OSC Tokyo/Fall